情報コミュニケーション学部
School of Information and Communication

留　学　報　告　書

記入日：2015 年 06 月 30 日

氏名	氏名：平田　篤宣
留学先国	タイ王国
留学先大学・学部（和文及び英語）	（和）シーナカリンウィロート大学 人文学部 （英）Faculty of Humanities, Srinakharinwirot University
留学期間	2014 年 08 月～2015 年 05 月
留学した時の学年	4 年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	4 年生（留学先大学で在籍した学年）
帰国年月日	2015 年 05 月 24 日
明治大学卒業予定年月	2015 年 09 月

留学費用項目	現地通貨（Thai Baht）	円	備考
授業料	36,000	133,200 円	タイ語学学校
宿舎費	120,000	444,000 円	家賃 12000B/月
食費	108,108	400,000 円	約 360B/日
図書費	2000	7,400 円	教科書代
学用品費	1000	3,700 円	制服代・ノート等
教養娯楽費	5405	20,000 円	授業の諸費用
被服費	2000	7,400 円	
医療費	0	0 円	保険で全てカバー
保険費	27,903	103,240 円	10 か月分
渡航旅費	32,543	120.410 円	
雑費	15,059	55,718 円	
その他（VISA 更新料）	5700	21,090 円	更新+Re-entry(multiple)
その他（光熱費+ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ）	12660	46,842 円	
その他（携帯電話）	10,000	37,000 円	基本 799B＋通話料
合計	378378	1,400,000 円	

渡航関連

渡航経路	往路：東京（羽田）－バンコク（スワンナプーム） 往路：バンコク（スワンナプーム）－東京（成田）

渡航費用	チケットの種類　日本航空 1 年間オープンチケット 往路 復路 合計　　　　　120,410 円（税金、燃油サーチャージ込）

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。
タイ留学コーディネーターによる手配

滞在形態関連

種類（留学中の滞在先）例：アパート，大学の宿舎など	
コンドミニアム	
部屋の形態	☒ 個室　OR　☐ 相部屋（同居人数：　　　）
住居を探した方法	
自分で街を歩きながら、アパートやコンドミニアムを探しました。管理人に空き部屋があるかどうか確認し、部屋を見て気に入ったら値段交渉します。「学生です」と伝えたら 1000 バーツほど値引きしてくれました。仲介業者を通すよりも安い家賃を探すことができます。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
私のコンドミニアムは、駅やショッピングセンターまで徒歩 1 分と優れた立地でした。バンコクでは移動の便利さを重視したほうがよいと思います。熱帯地域特有の暑さや突然の大雨など天候の変化が激しいです。長く住むことを考えると、多少家賃が高くても駅に近い場所が良いと思います。セキュリティ面では、アパート・コンドミニアム問わずオートロックを完備しているところがほとんどです。女性 1 人でも安心して暮らせると思います。	

現地情報

現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
☐ 利用する機会がなかった ☒ 利用した；風邪、目の炎症時。市内には国際病院、大学内にも小さなクリニックがあります。
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
友人（タイ人・日本人）、大学の国際室、また明治大学 ASEAN センターの方に相談しました。
現地の危機地域情報をどのように収集し，どのような防犯対策をしましたか。また，実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
日本大使館に在留届を出すことにより、随時、国内の最新情報を受け取ることができます。私が滞在している時は、政治問題等による大きな動乱はありませんでしたが、日本人旅行者を狙った盗難や詐欺の注意を促す連絡は頻繁にありました。「今、私は外国にいる」「自分の身は自分で守る」ということを常に意識しながら暮らすことが重要です。幸い、大きな事件に巻き込まれることはありませんでした。
パソコン，携帯電話，インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは，WIFI 接続が可能であったので，寮で使用できない時はカフェに行った。

タイ全土にて携帯電話・インターネット共に通信網が発達しています。日本に比べると不安定さやスピードの遅さを感じますが、大きな問題ではないと思います。街中には WI-FI を使える場所も多いので非常に便利です。

現地での資金調達はどのように行いましたか？
例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また，クレジットカードも併用していた。

現地では銀行口座を開設し、資金全てをそこで管理していました。初めに 30 万円を現金で持参して初期費用に全て充てました。それ以降の生活費は、クレジットカードのキャッシングと日本からの送金で調達しました。

現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的に、バンコクで全て取りそろえることができます。値段は高くなりますが、日本製品・日本食も購入することも可能です。自分が普段使っている医薬品は日本から持ってくることをお勧めします。

進路について

進路

☒ 就職　☐ 進学　☐ 未定　☐ その他：

進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など

特に無し

就職を選択した方は，差し支えなければ内定先を教えてください。また，その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

帰国後、すぐに就職活動を始めています。

就職活動中・終了時に関わらず，就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。
例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

今回も留学中に就職活動がスタートしました。説明会など出席できない為、焦りを感じましたが、留学中にできることをまずやろうと決めました。タイからエントリーシートの提出や OG・OB 訪問を行いました。それと同時に SPI の勉強もしていました。自分の進路を考えるという点で、留学の経験は就職活動に必ず役立ちます。「現地で何ができるか」を第一に考え、日本に帰国したときのために準備をしておけば良いのだと思います。

進学を選択した方は，差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は，留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ，記入してください。
12 単位（4.科目）	☒ 12（申請予定）単位（4 科目） ☐ 単位認定の申請はしません（理由：　　　）

履修した授業科目名（留学先大学言語）	COMMUNICATION INNOVATION
履修した授業科目名（日本語）	コミュニケーションの技術革新
科目設置学部	College of Social Communication Innovation
履修期間	1/2557（2014 年度 1st セメスター）
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	座学とグループプレゼンテーション、インターネットラーニング（英語）
授業時間数	１週間に 180 分が１回
担当教員	Brian Phillips
授業内容	デジタルコミュニケーション技術の発達プロセスを学習 それらが私達の暮らしにどのような影響を与えているかを分析
試験・課題など	中間試験：テスト（マークシート形式） 期末試験：グループプレゼンテーション 課題：基本的に毎週、インターネットを使ってレポート提出
感想を自由記入	グループプレゼンの発表方法が奇抜でした。例えば、テレビ電話を使って教室にいる生徒にバンコクのトレンドを実況する課題は非常に面白く、新しい授業の可能性を感じました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	SPEAKING AND LISTENING 2
履修した授業科目名（日本語）	スピーキングとリスニング（英語）
科目設置学部	Faculty of Humanities
履修期間	1/2557 （2014 年度 1st セメスター）
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	グループワークとプレゼンテーション（英語）
授業時間数	１週間に 180 分が１回
担当教員	Jonathan Freedman
授業内容	英語のスピーキングとリスニングを集中的に学習 グループワーク+プレゼンテーションが基本
試験・課題など	中間試験：無し 期末試験：グループプレゼンテーション 課題；毎週あり　授業内課題と宿題
感想を自由記入	「英語を話すときはストーリーを作れ」という先生の言葉が印象的でした。英語の上手さ云々よりも、どれだけ具体的にストーリーを作れるかを意識することが英語上達に繋がると学びました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	AIRLINE BUSINESS
履修した授業科目名（日本語）	航空ビジネス
科目設置学部	International College for Sustainability Studies
履修期間	2/2557 （2014 年度 2nd セメスター）

単位数	３単位
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	パワーポイントを使った講義と課外学習（英語）
授業時間数	１週間に 180 分が１回
担当教員	อิสเรศ รุ่งณรงค์รักษ์ (Isares Rungnarongruck)
授業内容	航空業界を学ぶ（飛行機製造、空港運営、航空会社など） CA トレーニングセンター、機内食工場、整備工場を見学
試験・課題など	中間試験：テスト（マークシートと記述） 期末試験：テスト（マークシートと記述） 課題：課外学習のレポート
感想を自由記入	何より課外授業が面白いです。タイ航空が所有する飛行機の整備工場では係員が丁寧に飛行機の仕組みを教えてくださいました。普段では中々知ることの出来ない飛行機を世界を学ぶことができます。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	ADVERTISING
履修した授業科目名（日本語）	広告論
科目設置学部	Faculty of Social Science
履修期間	2/2557 (2014 年度2nd セメスター)
単位数	３単位（聴講）
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	パワーポイントによる講義、グループワーク（タイ語）
授業時間数	１週間に 180 分が１回
担当教員	นาฏอนงค์ นามบุดดี
授業内容	タイの広告の在り方、表現方法、広告効果などを学習 グループワークとして広告制作
試験・課題など	中間試験：テスト（タイ語の為、未受験） 期末試験：テスト（筆記のみ、英語で解答） 課題：広告制作
感想を自由記入	タイ語による授業のため、全て理解することは困難でした。周りの学生が英語で説明してくれたので授業についていくことができました。課題の広告制作では、グループで広告を作りました。「タイの魅力を伝える」をテーマにバンコク市内を駆け回って撮影したのが良い思い出です。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	TRENDS AND BUSINESS
履修した授業科目名（日本語）	「トレンド」と「ビジネス」の関係
科目設置学部	College of Social Communication Innovation
履修期間	2/2557（2014 年度 2nd セメスター）
単位数	３単位
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	パワーポイントによる講義、グループプレゼンテーション（英語）

授業時間数	１週間に 180 分が１回
担当教員	ปรวรรธ วราธิป
授業内容	ビジネスとして「トレンド」をどのように生み出す方法を学習 それが社会にどのような影響があるかを分析
試験・課題など	中間試験：なし（グループプレゼンテーションで評価） 期末試験：テスト（マークシート方式） 課題：授業内でのグループプレゼンテーション
感想を自由記入	Apple や Google を例に「トレンド」が世界にどのような影響を与えるのかを学びました。成功例と失敗例の双方を比較しながら、真の「トレンド」とは何を学びました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	INTRODUCTION TO JAPANESE TRANSLATION
履修した授業科目名（日本語）	日本語翻訳入門
科目設置学部	Faculty of Humanities
履修期間	2/2557（2014 年度 2nd セメスター）
単位数	３単位（聴講）
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	パワーポイントを使った講義（タイ語・日本語）
授業時間数	１週間に 180 分が１回
担当教員	อาทินันท์ กาญจนดุล
授業内容	タイ語から日本語、日本語からタイ語の翻訳を学習 日常会話からビジネスなどあらゆる場面を想定
試験・課題など	中間試験：テスト（聴講のため未受験） 期末試験：テスト（聴講のため未受験）
感想を自由記入	今まで習ったタイ語をより磨くためにこの授業を履修しました。難しい単語や表現があり非常に難しかったです。私は、タイ語の発音を慣れるために聴講として履修しました。日本とタイの異文化理解にも役立ちます。

留学に関するタイムチャート

2014 年 1月～3月	2013 年 11 月　留学募集開始、書類提出、面接 2013 年 12 月　情報コミュニケーション学部よりタイへ留学許可を頂く。その後、シーナカリンウィロート大学より入学許可を頂く。長期休暇中は、アルバイトで留学費用を貯める。
4月～7月	情報コミュニケーション学部が持つ「タイ語」の授業を聴講として履修。タイ語の基礎を習得した。また、VISA の準備など留学に向けて準備を始める。

8月～9月	8月1日　タイへ出発。到着後、銀行口座開設・携帯電話契約・住まい探しを一週間かけて行う。 8月18日　1st セメスタースタート。午前（月～金）はタイ語語学学校、午後は大学の授業というタイムテーブルを組む。
10月～12月	10月初旬　中間テスト 10月下旬　VISA の更新（1年間へと変更） 12月初旬　期末テスト 12月中旬　タイ語語学学校のテスト その後、1月12日まで長期休暇
2015年 1月～3月	1月12日　2nd セメスタースタート。午前は（月水金）語学学校、午後は大学の授業。 3月中旬　中間テスト
4月～7月	5月中旬　期末テスト 5月24日　帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私がタイへの留学を志すきっかけとなったのは、タイの人々が持つ「寛容性」に惹かれたからです。大学１年生の時からタイ・ラオス人留学生の学習支援活動をしています。最初は好奇心から始めたのですが、彼らの全身で日本語や文化を学ぼうとする姿に魅了されました。どんな文化の違いであれ、彼らは理解し、受け入れようと努めます。その心こそ、タイの成長のエネルギーなのだと感じました。タイの文化と触れ合いながら、この技術を学びたいと思うようになっていました。
留学のためにした準備，しておけば良かったと思う準備	「何のために留学をするのか」という目的を定めることだと思います。語学を磨きたいのであれば、留学が決まった瞬間から始めるべきです。現地で暮らすことで効果的な語学勉強はできますが、時間はあっという間に過ぎてしまいます。納得の結果を得るためにも、早い段階で下地を作り、現地でブラッシュアップすることが望ましいと感じました。私は、「タイの広告を学ぶ」というゴールを作りました。動画サイトなどを使って出来るだけ多くの広告を見て事前学習をしていました。その後、現地の広告に触れたり、大学の授業を受けたりして、タイ人の広告表現を学ぶことができました。
この留学先を選んだ理由	慣れ親しんでいた大学であったことが１番のポイントです。タイから来る留学生のほとんどが、その大学から来ていました。彼らと接していることで「どんな校風か」「どんな授業があるのか」など知ることができました。また旅行でタイに訪れた時、大学に遊びに行ったことがあります。ここでの大学生活を想像してみると、有意義な生活が送れるはずだと実感しました。私にとって最適な選択だったと感じています。
大学・学生の雰囲気	私の通った大学は、明治大学に似ています。総合大学であり、都会の中心に立地しています。タイ全土から多くの人々が訪れ、多様性溢れる校風だと感じました。大学の中心には大きな緑の校庭があり学生達の憩の場となっています。サッカーやマラソン、ダンスの練習、演劇の練習など使い方は自由です。大空の下、彼らと好きなことをして楽しむのはとても気持ちがいいです。私は、広告を作る課題があったので、そこで撮影をしていました。素晴らしい景色で絵になります。
寮の雰囲気	私は、１人で賃貸を選びました。残念ながら、大学内には寮が用意されていないので自分自身で住まいを探すしかありません。バンコク市内は住居がたくさんありますし、比較的安価なので自分の予算と希望にあった部屋を選ぶことができます。コンドミニアムだとスイミングプールやフィットネスジムなどのファシリティが完備されていて、無料で使うことできます。日本では体験することのできない暮らしをしてみるのもいい思い出になるのではないでしょうか。
交友関係	私はタイ語が初めから上手くなかったので、タイ人の友達を作っていっぱい話すことに注力しました。同じ授業の学生に声をかけ、授業の質問やタイ・日本文化の意見交換など勇気を思って会話したことを覚えています。初めは英語でしたが、徐々に習ったタイ語を入れることで、言葉の勉強にもなりました。放課後には一緒に食事したり、休みの日には映画を見に行ったりと彼らと有意義に過ごすこともできました。幸せなことに、タイ人は親日家が多いので日本の食文化やエンターテイメントの話をすると喜んで聞いてくれました。

学習内容・勉強について	午前中はタイ語の語学学校、午後は大学の授業というスケジュールを組んでいました。大学では、英語で教える授業を取っていたので、タイ語と英語を共に学ぶことができるので一石二鳥です。タイ人の英語力は、日本人とほぼ互角です。私だけが授業進度に遅れてしまうということがないので安心しました。分からないところがあればお互いに質問し合うことで理解度を高めることができます。共に考えながら学んでいくスタイルは学ぶことでとても重要だと感じています。
課題・試験について	ほとんどの授業に、毎回課題がありました。難易度は高いわけではありませんでしたが、じっくりと考える問題やグループワークなど課題に時間を取られることがしばしばありました。試験は筆記からプレゼンテーションまで様々です。私がとった授業はプレゼンテーションがほとんどでした。タイ人と共に共同で進めるので意思疎通の難しさを実感しました。簡単な英語で伝えたり、ジェスチャーや絵を使って表現することにより円滑なコミュニケーションできるよう心がけていました。
大学外の活動について	タイ人学生と共にバンコク市内、市外を行き来して映画の撮影を行いました。友人が大学の課題で撮影していることを聞き、参加させてもらいました。ストーリー作成から絵コンテの構想、ロケハン、撮影・編集を通して彼らの本格さに驚かされました。大掛かりの機材を使用したり、警察署内で撮影したりとまるでプロフェッショナルでした。私は、第三者として「わかりやすく伝えてあるか」「どう思ったか」をアドバイスしました。とても貴重な経験になったと感じています。
ある平日のスケジュール	８時：起床・朝食　９時～12 時：タイ語語学学校 12～13 時：昼食　13 時～16 時：大学の授業 16 時～21 時：タイ人学生と食事や買い物、映画など 21 時～２４時：タイ語勉強、課題、予習など ～２５時：シャワー・就寝
ある休日のスケジュール	９時：起床・朝食　10 時～：タイ語勉強、読書、テレビ視聴など 12 時：昼食、出かける準備 １３時～：ショッピングセンターへ買い物、映画、市外に旅行など 19 時：レストランで夕食 23 時：帰宅、テレビ視聴やインターネット、友達と会話など 25 時：シャワー・就寝
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	自分の留学のカタチを見つけてほしいと思います。他の日本人留学生と比べて「自分はこれでいいのか」と思ったことがありました。私はタイ語の習得に時間がかかってしまい、少し負い目を感じていました。一方で、タイ人同士で映画の撮影を行っていたり、街中の広告を１人で歩いて見て回ったり、交流パーティに参加したりと「私の目標」を達成できるように努力しました。それが私の留学の意義であり、達成したという自信に繋がっています。不安に思った時は、初心に戻って自分の信念を再確認しましょう。それが、あなたとって最高の留学経験になるはずです。応援しています。

映画撮影の様子①

映画撮影の様子②

情コミ短期研修プログラムにて

大学一年時に出会った
タイの友人と再開